

金融に関する知識と生活行動との関連： 九州の私立大学生へのインタビュー調査から

倉 元 綾 子

Financial Knowledge and Lifestyle Behavior:
An Interview Survey of Private University Students
in Kyushu, Japan

Ayako Kuramoto

1. はじめに

日本では、2015年、公職選挙法改正により選挙権年齢が引き下げられた。また、世界的に18歳成年が主流であることから、2022年4月1日、民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられた。これによって、親の同意なしに、自分の意思でさまざまな契約ができるようになる一方、未成年者取消権もなくなった。そこで、政府広報オンライン、消費者庁、国民生活センターなどでは、新たな消費者トラブルの増大を懸念し、注意を喚起した（2022）。

その結果、国民生活センター（2023）によれば、2022年度の18歳・19歳の消費者トラブルは9,907件で、2021年度より増加したものの、2019年度、2020年度より減少した。相談の上位には「脱毛エステ」、「商品一般」、「出会い系サイト・アプリ」が挙がっている。執拗な契約勧誘、解約できない、架空請求、過大な課金などの事態が発生している。このことは、若者に対する金融リテラシー教育の重要性を改めて確認させるものとなっている。

日本における金融教育には、投資教育・経済教育を強調したものと、消費者教育の一環としての金融教育がある。前者は、貯蓄から投資への転換を推進し、投資知識の普及・情報の提供、金融・証券教育の促進をめざしている。後者は、

消費者市民社会の構築、公正で持続可能な社会の実現に寄与することを目的としている。

消費者教育としての金融教育の流れを受け、金融広報中央委員会は2014年に金融リテラシー・マップを作成し、生活者スキルとして、最低限身に付けるべき具体的内容を明らかにしている。なお、2005年から金融教育の内容が各教科の学習指導要領に盛り込まれてきたが、2017年・2018年の学習指導要領の改訂で、高校で資産形成に関する内容が必修化され、金融教育に関わる記述が大幅に拡充されたのを受けて、更新されている（2023）。

同書では、金融教育を次のように定義している。

「金融教育は、お金や金融の様々な動きを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育である。」

本稿においても、適切な知識や情報の獲得、適切な利用をつうじて恒常的に日常生活を営み、ウェルビーイングを実現することができることを金融教育の目標に設定している。金融イノベーションが進行し、金融商品や金融サービスが多様化、複雑化している。一方、それらの購入、商取引における個人の責任はますます大きくなっている。したがって、生涯にわたって、体系的に、お金の動き、経済や金融の仕組みや働きについて学ぶことが求められる。金融環境の変化に対応し、常に知識や情報をアップデートしなければならない。さらに、金融に関する知識の蓄積や態度の形成にあたっては、日常生活における行動や考え方を含む幅広い教育が必要になる。

本研究では、インタビュー調査によって九州の私立大学に在籍する学生の金融リテラシーと生活行動との関係を明らかにし、課題を抽出する。

2. 研究の枠組みと課題

(1) 金融リテラシー

上述のように、「金融経済教育研究会」は、今後の金融経済教育のあり方について検討し、金融リテラシー・マップ（以下、マップと表す）で、最低限身に付けるべき生活スキルを明らかにした。なお、2017年・2018年の学習指導

要領改訂を受けて更新している（2023）。マップは、年齢階層別（小学生、中学生、高校生、大学生、若年社会人、一般社会人、高齢者）に、「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の選択」、「外部の知見の適切な活用」という4分野から成っている。

さらに、学校段階における金融教育を効果的に行うために、学習指導要領に合わせて、「関心・意欲・態度」を重視した「金融教育プログラム：学校における金融教育の年齢層別目標（改訂版）」（金融広報中央委員会、2021）を作成している。小学生では「社会の中で生きていく力の素地」、中学・高校では「社会人として自立して生活するための能力」、大学では「その能力の確立」をめざし、具体的項目をあげている。

また、取得が望まれる生活スキル、具体的行動として、「子ども同士でお金の貸し借りはしない」「悪質商法等の被害にあわないようにする」などをあげた。とはいえ、学校段階で習得が期待される具体的行動は、収支管理のほかには、ほとんど挙げられていない。高校、大学と年齢が進むにつれて、アルバイト、奨学金受給、一人暮らしが増える。自立度も高まり、扱う金額、収入・支出の内容も複雑になるにもかかわらず、内容には変化がない。

一方、大学生の金融リテラシーについては国内でも多くの調査研究の蓄積がある。山岡らは、大学生と高校生の金融リテラシーには有意な差がないことを明らかにした（阿部、山岡、浅野、高橋、2013、阿部、山岡、浅野、2016、山岡、稲葉、浅野、阿部、高橋、2013、高橋、2020）。金融教育になじみがないという学生も少なくない（藤野 2016）。全体として、女性よりも男性の方が、経済・経営・商学部の学生が、また文系学生より理系学生の方が、金融リテラシーが高い（飯島 2014）。海外の学生と比較した調査結果によれば、日本人学生の金融リテラシーは低く、判断を伴う意思決定についての訓練が必要であることを示唆する結果もある（小山内、西尾、北野、2016）。しかし、米国人の方が日本人よりも金融リテラシーが高いという結果は、調査の質問票の文面や自信過剰バイアスによるものであり、両者の客観的知識は変わらないという報告もある（山口 2019）。

(2) 金融ケイパビリティ

金融リテラシーは態度や行動を一部に含むものの、金融に関する知識や技法に焦点を置いている。金融リテラシー教育が進むに従い、単に知識や技能を有するだけでは状況の改善に至らないことが指摘されるようになった（野田 2020）。望ましい状況の達成に貢献する態度や行動を強調する金融ケイパビリティ概念が登場した。

金融ケイパビリティの発信地は英国である（新井 2015）。英国では 1960 年代になると重工業、製造業が衰退し失業者が増加した。若者の間でニートやホームレス、政治的無関心層が増え続け、危機感を持った政府は、子どもたちが将来、市民としての役割を果たすことができるようにシティズンシップ教育を導入した。シティズンシップ教育は、市民としての社会的・倫理的責任、コミュニティとの関わり、政治的リテラシーを育てることを目的とした。さらに、社会的責任のひとつとして金融責任を担う市民の育成のために「金融ケイパビリティ」概念が用いられるようになった（伊藤, 2012）。

英国金融サービス庁（Financial Services Authority: FSA）は金融ケイパビリティに金融知識と理解、金融スキル、金融に関する自信と態度の 3 分野を設定し、これらを前提に最終的に適切な金融行動をとることに焦点をあてた金融ケ

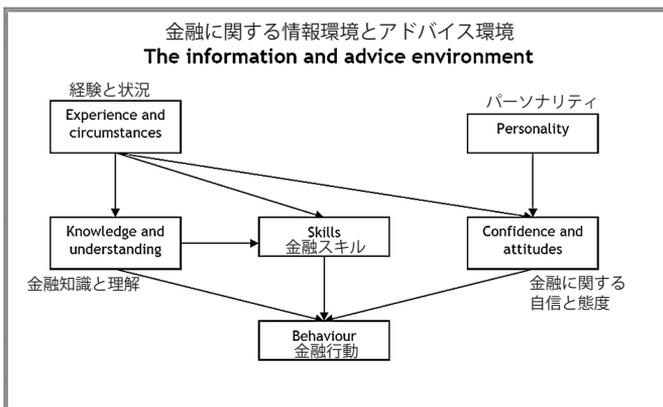


図 1 金融ケイパビリティ・モデル

Financial Services Authority (FSA), Personal Finance Research Centre, University of Bristol (2005) Measuring financial capability: an exploratory study. をもとに筆者作成

イパビリティ・モデル（図1）を提示している（2005）。伊藤（2012）は、「人々の金融に関する実際の行動が金融ケイパビリティがある証拠となるが、この金融行動は、知識と理解、スキル、態度と自信という3要素に影響される。そしてこの要素すべてが、人々の経験と置かれた環境の影響を受けており、また自信と態度については、個々のパーソナリティが影響を及ぼしている。この全ての要素全体が、金融に関する情報環境とアドバイス環境の中で機能しているというのがこのモデルの基本的理解である」と説明している。

さらに、FSAは、人々の金融行動に関わる金融ケイパビリティの構成要素として、「収入内でやりくりする（making ends meet）」「収支の記録をつける（keeping track of your money）」「将来の計画をたてる（planning ahead）」「金融商品を選択する（choosing financial products）」「金融問題に精通する（staying information about financial matters）」の5つをあげている。

この点について伊藤（2012）は我が国における金融ケイパビリティの構成要素として、①日々と月々及び年次の家計管理を行い、②短期中長期の計画を予め立て、③金融商品や経済事情についての知識と理解という狭義の金融リテラシーを身につけ、④必要な情報とアドバイスを得つつ、⑤貯蓄・運用・ローン、保険に関する金融商品の適切な選択と管理を行う、という5つが妥当な内容ではないか、と述べている。

将来の計画をたて、短期中長期の計画を予めたてるためには、収入内で生活をやりくりして収支の記録をつける、現状を正確に把握することが不可欠である。現状把握ができていない状態では、将来の計画、中長期的な計画をたてることは難しい。この点を考えると、日々の家計管理である収入と支出の把握は金融ケイパビリティを構成する要素の基本であり実行が望まれる行動である。

（3）研究課題

金融リテラシー・マップにおいて、収入と支出の管理は小、中、高、大学期における具体的行為を伴う行動である。同時に金融ケイパビリティを構成する要素の中で中核となる要因である。本稿ではこれらの点を踏まえ、金融ケイパビリティ・モデルを援用して、インタビュー結果を検討する。

3. 研究方法

インタビュー対象者の概要は結果の冒頭に示すとおりである。

インタビューは2023年1月23日から28日に、一人90分、オンラインで実施した。対象者は16人で、内訳は3年生、4年生が各8人、男子6名、女子10名であった。

なお、インタビューに際し、予め本学の研究倫理委員会の審査を経るとともに、対象者には事前にインタビューの趣旨、内容を説明し、同意書を得ている。また、インタビューは電子的に記録し、終了後直ちにプライバシーに触れることの内容に注意して、文字に変換後、対象者との間で相互に記録を確認した。

インタビュー項目は、属性（男女、学年、高校までの家族状況、現在の居住形態）、キャリア志向、収入の把握（アルバイト、奨学金、仕送り、自由になるおカネ）、父親の家事参加の影響などである。

4. インタビュー結果および考察

(1) 概要

インタビュー日時	2023/1/23, 24, 25, 26, 28
インタビュー所要時間	各自約90分
インタビュー方式	オンライン
インタビュー対象者	16人
学年	3年8, 4年8
性別	男6, 女10
インタビュー項目	内容
家族状況（高校まで）	核家族13（祖父母同居1）、拡大家族3
現在の居住形態	一人暮らし9, 自宅7
キャリア志向	男性, 継続6, 女性, 継続, 産休・育休7, 復帰1, 結婚・出産退職2
奨学金（給付型, 貸与型）	あり（貸与型）6, なし10
奨学金（金額）	3万1, 4.5万1, 5万2, 不明2
アルバイト収入	3万1, 4.5万4, 5.6万4, 6.7万3, 7.8万4, 不定1
アルバイト先	飲食7, 教育3, その他4, 不明3
自由になるおカネの金額	3.4万1, 5.6万5, 6.7万3, 7.8万1, 8.10万3, 11.12万2
父親・祖父の家事参加	あり5, 一部あり9, なし2
母親・他の家族の工夫	ありがとう7, ほめる2, 自分が手伝う1, 特になし4, 不明1
父親・祖父から教えてほしかったこと	人間関係・家族関係（家族の歴史）4, おカネ3, 料理1, 特になし9

親世代からおカネに関して直接、教えられたこと	無駄遣いするな 4、年金 2、小遣い帳 3、クレカ 3、おカネの貸し借り 1、特になし 4
親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと	年金 11、保険 7、投資 6、クレカ 5、税金 4、おカネプラン 4、貯金 2、その他 6（振り込み詐欺／キャッシング／取支、家計簿のつけ方／マルチ商法／モバイル・プランナー）

(2) 一人暮らし・女性・核家族（事例 1）

- ①属性：4 年，女性／高校まで核家族、5 人／現在，一人暮らし（家賃、親負担）
- ②仕事：継続希望、出産後パート，復帰型キャリア，総合職
- ③奨学金（給付型、貸与型）：なし
- ④アルバイトの金額：月 6-7 万、居酒屋
- ⑤自由になるおカネの金額：月 6-7 万（バイト代），用途：水光熱費 1 万、食費 1 万、飲み、遊び、美容、美容院、韓国バック旅行 3泊 4 日、ソウル、10 万。
- ⑥父親・祖父の家事参加：父親…庭、壁、家電・パソコン・テレビなど機械系。料理・掃除・ゴミ出しはしない。家族でドライブに出かける。／2) 母親・他の家族は、父親・祖父が家事をしやすい工夫…特になし／3) 父親・祖父との関わり，記憶が鮮明なできごと：小学校，校区運動会、競技にでていた、パン食い競争；火の用心、ゴルフ大会／4) 父親・祖父との関わりを通して、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：自分の好きなことをやる、選択は自分で決める。／「男は仕事、女は家事」という感じ。
- ⑦父親・祖父から教えてほしかったこと：特になし／6) ボーイ（ガール）フレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：父親…ケチじゃない、出すときは出す、温厚、優しい、マイペース、包容力がある。
- ⑧おカネに関すること：一人暮らしをして：水光熱費…意外とかかる，トラブル…夜から朝 9 時ごろまで友人 13 人くらいと宅飲み、管理会社から騒がしいとのクレームがあった。コロナにも感染した。
- ⑨親世代を見ていて、おカネに関して気付いたこと、学んだこと：
- ⑩貯めてから、大きな買い物をする。一戸建て・土地とも…計画的；以前は、家賃 7, 8 万だった。
- ⑫記憶が鮮明なできごと：幼稚園（兄が小学生になったとき），地域のお祭り

に、お小遣いをもらって行った。兄が500円玉を落としたことを伝えたら、父親にひどく怒られた。「お金は大事なのだ」と思った。

- ⑬親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：税金、年金
- ⑭その他：今後、食生活に気をつける、自炊する。

(3) 一人暮らし・女性・核家族 (事例2)

- ① 3年, 女性/高校まで核家族, 5人/現在, 一人暮らし (家賃 5.5万, 親負担)、セキュリティが高い、オートロック
- ② 仕事：継続希望、小学校教諭、場合によっては保育園・幼稚園に転職することも考えている (保育士免許は勉強して取る) / キャリア継続, 専門職
- ③ 奨学金 (給付型、貸与型) の有無：なし
- ④ アルバイトの金額：月 5.5万、水炊きや (大濠公園)、学童・舞鶴小 (12月から) (かわいいと思うようになった、新しい発見、友情など、視野が広がった)
- ⑤ 自由になるおカネの金額：月 5.5万、アルバイト代をあてている。食費、飲み、音楽チケット代、ライブ+旅行 (福岡、岡山)、カメラ。食費、水光熱費…親負担
- ⑥ 父親・祖父の家事参加：父親…洗濯、家族の送迎 (駅まで、門司港駅)、食器洗い (週末) / 母親が上位 / 買い物…母親と。ついて行っていた。自炊。
- ⑦ 母親・他の家族：褒めている。すごい!
- ⑧ 父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：やさしい、自分ごととして考えてくれる、父親との間では反抗期はなかった。
- ⑨ 父親・祖父との関わりを通して、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などに何か影響はありましたか。 / やさしくする、自分ごととして考える、人との縁を大切に下さい、と言われていた。 / 食事は家族全員で食べる。 / 家族が、一緒に何かをすることを大事にしている。 / そこで、いろんな話をする。 / マナーなど。食べ物にもいのちがある、など / あたりまえに感謝下さい、と言われていた。バースデー・カードに何年もそう、書いてあった。

- ⑩ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：(4) のすべてが影響している。
- ⑪おカネのことに関すること：一人暮らしをして、生活にお金がかかることが分かった。
- ⑫親世代からおカネに関して直接、教えられたこと：小遣い帳、つけている。小学校のときから、kittyの手帳を用意してくれた。
- ⑬親世代から、おカネに関して気付いたこと、学んだこと：コンビニは利用しない。／必要なところ、自分が大事にしたいところには、おカネをかける（自分の場合、コーヒーなど）。
- ⑭おカネのことで記憶が鮮明なできごと：大学入学時、学費や生活費がかかる。おカネを稼ぐことは、大変だ。
- ⑮親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：クレジットカード、年金、保険、振り込め詐欺など。

(4) 一人暮らし・女性・核家族 (事例3)

- ①3年、女性／高校までの主な家族形態：核家族、4人／現在；一人暮らし（家賃4.5万、親が負担）
- ②仕事：継続希望、結婚・出産・育休取得、研究職
- ③奨学金：なし
- ④アルバイト：月4-5万、週3回、月12回、塾
- ⑤自由になるおカネの金額：月11-12万（アルバイト代4-5万+仕送り7万）、食費、生活費、電気・水道、日用品、服、旅行（広島、大阪USJ・梅田・新大阪ショッピングモール）、外食、映画、ジャニーズ、ライブ、今まで使うことができなかつたからいろいろ行ったり使ったりした。
- ⑤父親・祖父の家事参加：父親…洗濯、電気製品の修理、インクの入れ替え、庭の手入れ、家族の送り迎え。／祖父…庭の手入れ、家族の送り迎え、家事をほぼすべて、料理以外。／おじ（母親の弟）…送り迎えのピンチヒッターをしてくれる。
- ⑥母親・他の家族：ありがとうと言っている。

- ⑦ (全体として) 父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：父親、ずっと、ボランティア、なんでも、インリーダー教室 (小学生の体験活動) の監督、花を植える活動、幼稚園にも、他の人のためにいろいろな仕事をしてきた。／祖父、区長、登下校見守り活動 (朝夕の交通指導)、体育館の管理人、他の人のためにいろいろな仕事をしている。
- ⑧ 父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：バスケットボールをする過程で、他者の意見を聞く、意見を言うことを学んだ。生徒会、バスケットボール部のキャプテン、成人式のあいさつ (二十歳の誓い)。以前は内気だった。／大学のお金は父親。／高校2年時、反抗期、親に申し訳なかった。
- ⑨ 父親・祖父から教えてほしかったこと：パチンコ、知りたいような知りたくないようなことをいろいろ聞きたい。／親の生涯について、知りたい。
- ⑩ ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：多少ある。
- ⑪ おカネのことに関すること・一人暮らしをして (大学生になって)、困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと：地元の友人と遊ぶとき、大学の友人と遊ぶとき、経済力の違いを感じる。／クレジットカード代…払いそびれたことがあった。遅延金を支払うことになった。
- ⑫ 親世代 (父親、母親、祖父母など) を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：家計簿をつけている。
- ⑬ おカネのことで記憶が鮮明なできごと：大学入学時、引っ越し。業者を使うとおカネがかかる。
- ⑭ 親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：クレジットカード、年金、保険

(5) 一人暮らし・男性・核家族 (事例 4)

- ① 3年, 男性／高校までの主な家族形態：核家族, 4人／高校は全寮制／現在の居住形態：一人暮らし (家賃 4.5万、親負担)
- ② 仕事：小学校教諭、定年まで継続
- ③ 奨学金：あり (貸与)、詳細不明

- ④アルバイトの金額：不定、ペイペイドームの試合後のスタンドの清掃（プロ野球のシーズン）。時間が不定、融通がきかない。
- ⑤自由になるおカネの金額：月5万くらい（仕送りなど）、使わない、残る。
／仕送り：定額ではない、必要な時に頼む、お金あまり使わない、食費1-1.5万程度（コメ、夜食べない、献立…鍋、朝：プロテイン、おにぎり、昼：生協）、野球部・部費、野球道具（以前）、旅費（遠征、2022夏・広島3万くらい、2023年3月鹿児島・宿泊7万、広島・宿泊3万）、遠征先で試合（大学、社会人と）。
- ⑥学生コーチを2年春からやっている。学生主体で活動するよという意向（監督）、2年上の先輩学生コーチたちにあこがれた（野球部が強くなった、しかしF大に惜敗、泣いていた）、教員になるためのトレーニングにもなる。
／野球部、注目され始めている、プロ入り選手もいる、推薦入学制度をとっていない。部活と勉強の両立、大変である。福岡県の大学野球は、レベルが上がっている。
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…結構やっていた、共働き、夕食つくる、片付け、普通にやっていた。／母親…仕事で責任ある立場にある。ときどき家に帰るのが遅くなる。
- ⑧母親・他の家族：自分と弟が、もう少し手伝いをしたほうがよかったと反省している。
- ⑩（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：小学生のとき（ソフトボール）、父親がソフトボールのコーチ、一緒に時間が多かった。門限はなかった、自分で考えて行動するよう促してくれた、自分の考えや決めたことを認めてくれていた。
- ⑪父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：自主性を尊重する、できるだけ子どもとかかわるようにする、／家での教え、怒るとき…人に迷惑をかけたとき、やるべきことをやっていないとき。理不尽なことはなかった。／仕事を家庭に持ち込まない
- ⑫父親・祖父から教えてほしかったこと：いろんなことを教えてもらった、特

になし。

- ⑬ガールフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：ごはんのお金を出させない、好きになった人を泣かせない、守る、相手に告白させない（自分から告白する）と教えられた。
- ⑭おカネのことに関すること・一人暮らしをして、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと：食事…食材の値段に敏感になった、ポイントをつけるようになった、チラシをチェックするようになった。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと。：家計簿…母親はつけていた。／帰省時（年末）に、お金のやりくりについて、話をすることもある。
- ⑯親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：家計簿をつけ、おカネの使い道を確認することが大事である。
- ⑰おカネのことで記憶が鮮明なできごとを教えてください。
- ⑱親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：自分で考えて行動し、フィードバックを受けてきた。／年金…自分で支払っている。
- ⑲その他：子どもに対する、最低限の知識、教育は必要である。

（6）一人暮らし・男性・核家族（事例5）

- ①4年、男性／高校までの主な家族形態、核家族、4人、母親…パート、自分が高校のときから、学童／現在の居住形態：一人暮らし（家賃5万、他の費用を含む、親負担）
- ②仕事：継続希望、総合職
- ③奨学金：貸与型、月5万、4年間で240万、無利子
- ④アルバイト：月7、8万、コール・センター、週4、5回、平日5、6時間、Aショッピング・ローン（時計、家電など）担当
- ⑤自由になるおカネ：月7.8万（アルバイト代）、遊び、食事、旅行（北海道、帰省）、日用品、洗剤、美容院など。

⑥その他：

- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…しない、メダカの飼育（水槽、たくさん、種類いろいろ）、庭の手入れ、車の掃除／祖父（母方）…畑／祖父（父方）…畑、魚釣り、魚をさばく、野菜作り、鶏飯（セットして送ってきてくれた）、いろいろなことをする。2022年に亡くなった。
- ⑧母親・他の家族は、祖父（祖母）の鶏飯などに感謝している。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：祖父…小学校運動会、毎年来てくれた、いろいろなものを持ってきてくれた。／父親…土日、公園、体を動かす、キャッチ・ボール。
- ⑩父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：祖父…芯がある、一度決めたことやまかされたことはしっかりやる。／出会った大人、友人くんのバイト先で、銀行員…まかされたことは、すぐにとりかかる。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：父親…人間関係、人とのつきあい方。
- ⑫ガールフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：特になし／母親…つきあうときには、連れてくるように。金銭感覚がある人がよい。ない人は困る。
- ⑬おカネのことにすること・一人暮らしをして、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと：おカネの使い方がよくわかっていなかったので、バイト代を使い切りそうになった。／おカネがなくなったとき、頼ることのできる親や親せきが周りにいないのは心細い。／最後には、親に頼るが、あまり心配をかけたくない。
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：節約するように。無駄遣いしないように。旅行などに使うように。おカネの使い道を把握するように。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：母親…結構、節約する。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：大学生になって、生活にはおカネがかかる。おカネの管理、大切。

- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：クレジット・カードに関する知識，キャッシングなど。
- ⑱その他：1，2年の時にしっかり貯金すれば、よかった。

(7) 一人暮らし・女性・核家族・祖父母近居(事例6)

- ①4年，女性／高校まで核家族，5人，隣の家に祖父母／現在，一人暮らし，マンション（親負担，家賃不明）
- ②仕事：継続希望，産休・育休取得，人と関わるのが好き，教員，総合職
- ③奨学金：あり，貸与，宮崎県独自のもの，月4.5万
- ④アルバイト：月5-6万，薬局
- ⑤自由になるおカネの金額：月10万，無駄遣いはしない，貯金得意
- ⑥その他／カナダ，語学留学（2022年，2か月）…自分で貯めたお金で行った。少し援助してもらった。
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…料理，たまに（月1回程度），庭掃除・手入れ，車の掃除，大きいもの／ごみ捨て…父母半々
- ⑧父親・祖父の関わりで，記憶が鮮明なできごと：自分が高校生のところまで。父親は消防団に属し，みんなのために頑張っていた。カッコいい！と思った。ヘビ，ムカデを退治する。
- ⑨父親・祖父との関わりを通した，あなたの生き方，仕事との向き合い方，キャリアの築き方などへの影響：工具類を扱ったことがある。「好きなように生きる」，自分の考えを尊重してくれる。
- ⑩ボーイフレンドを選ぶとき，父親・祖父の影響：父親みたいでない方がよい。ありがたいが，うるさいところ，あり。いいのだが。面白いのだが。
- ⑪おカネ：一人暮らしをして（大学生になって），びっくりしたこと…カナダ留学中，不在だったのに，光熱費が高かった。基本料金があり，高いことがわかった。／トラブルになりかけたこと…エアコンが壊れたので，自分で取り換えた。マンションの管理会社に言って，返金してもらった。カナダ滞在中，カードの限度額を越えそうになった。オーロラ，見に行った。留学中の友人に会った。

- ⑫親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：「お金の貸し借りはしないこと」、年金のこと。国民年金基金、自営業なので、積み立てるように言われる。
- ⑬親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：教育費が高い。きょうだい3人、全員が私立大学。全員、塾に行っていた。／税金の申告（青色申告）、書類作成大変。
- ⑭おカネのことで記憶が鮮明なできごと：コロナ対策、10万円特別給付。
- ⑮親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：保険、年金の仕組み。
- ⑯食生活…自炊が基本。外食すると高くつく。月2万円。

（8）一人暮らし・女性・拡大家族（事例7）

- ①3年、女性／高校まで、拡大家族、6（母親…専業主婦）／現在の居住形態：一人暮らし、（親が所有しているマンション）
- ②仕事：結婚・出産まで（働きたくない、責任があるから）、教育系一般企業（塾、教育雑誌など）。総合職、専門職
- ③奨学金：なし
- ④アルバイトの金額：月4万、週3日、1日4時間、お惣菜販売
- ⑤自由になるおカネの金額：月8万（4万・アルバイト代+4万・仕送り）、電気ガス水道、食費1.5万以下、服、化粧品、美容院、脱毛（2,3か月に1回、ローン）
- ⑥父親・祖父の家事参加：祖父…しているのをほとんど見たことがない。庭の木の手入れ。／父親…あまりしなかった。母親がいないときにはやっていた。（一人暮らしをしていたので、家事全般、一応できる。）
- ⑦母親・他の家族は、父親・祖父の家事に対して、ありがとうと言う。感謝している。へりくだって、下から、願います。
- ⑧（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：自分が高校生するとき、父親は仕事と、竹林の手入れとをしていた。体力が要り、大変だった。腰と肩、怪我した。肩は1年ほど前に手術した。少しマシになったが。／竹林…たけのこ、手入れが大変。以前は祖父が所有、亡くなったのち、父

親が引継いだ。転機（怪我，早期退職）となった。竹細工もできる。

- ⑨父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：父親…なんでも完璧にやろうとする。自分も見習って最後まで完璧にやろうと努力している。
- ⑩ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：父親と違うタイプの人がいい。父親の権威、権力が強かった。／同等、対等にできる人がよい。男性中心でない方がいい。
- ⑪おカネのことに関すること・親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：なるべく一括で払うように、と言われた。
- ⑫親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：駐車場経営の資料、山林の境界など、自分が親から話を聞いている。今後、引き継ぐ可能性もある。
- ⑬おカネのことで記憶が鮮明なできごと：高校生のころから、大きいお金が動くのを見ている。
- ⑭親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：年末調整など、税金／国民年金…学生のうちは親が支払い

（9）一人暮らし・男性・拡大家族（事例8）

- ①3年，男性／高校までの主な家族形態，拡大家族，5人／現在の居住形態：一人暮らし、アパート（家賃3.5万、親負担）
- ②仕事：継続，専門職（教員、地元の市・県）
- ③奨学金：なし
- ④アルバイトの金額：月8万（12月）、飲食、時給1000、週3、18-23時（5時間）
- ⑤自由になるおカネの金額：仕送り、月3万+アルバイト代／食費、服、美容院、など。ライブ、旅行、年2回、国内（大阪、京都、東京など）、携帯…親負担
- ⑥その他：
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…掃除、洗濯／母親…料理、ゴミ出し／以前は

共働き

- ⑧母親・他の家族は、父親・祖父の家事に、感謝している。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：特になし
- ⑩父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：家族のために、仕事を一所懸命やる。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：特になし
- ⑫ガールフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：特になし。
- ⑬おカネのことに関すること・一人暮らしをして（大学生になって）、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと（なりそうになったこと）：特になし
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：無駄遣いするな。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：家計簿をつけていた。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：特になし。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：クレジットカード。
- ⑱その他：なし。

(10) 一人暮らし・男性・拡大家族（事例9）

- ①3年、男性／高校までの主な家族形態、拡大家族、6人／現在の居住形態、一人暮らし、アパート（家賃4.7万、親負担）。
- ②仕事：継続、公務員（一般職、総合職）。
- ③奨学金：なし。
- ④アルバイトの金額：月4-5万（今後はやめて、就職のために勉強する）。
- ⑤自由になるおカネの金額：月8-10万（仕送り・月4-5万+アルバイト代）、使途、食費2万くらい、美容院、服、日用品、あまりおカネは残らない、旅行…九州全県、広島、山口、大阪、東京、京都（友人と、長期休みなどに）、電気・ガス・水道…親負担。
- ⑥その他：自炊する、ネットで調べたレシピに従って作る、脂質を取りすぎな

い、人が多いので、生協にはあまり行かない。

- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…掃除、ゴミ出し、日常的に。
- ⑧母親・他の家族による父親・祖父が家事をしやすくする工夫：不明。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：中学生ごろまで、父親（草野球のキャッチャー）についていった。応援（自分だけ）。
- ⑩父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：仕事を頑張っている（民間企業）。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：特になし。
- ⑫ガールフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：特になし。
- ⑬おカネのことに関すること・一人暮らしをして（大学生になって）、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと：特になし。
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：無駄遣いするな。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：お金の話、余り、しない
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：なし
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：積立 NISA
- ⑱その他

(11) 自宅・女性・核家族（事例 10）

- ① 4 年，女性／高校までの主な家族形態，核家族，4／現在の居住形態：自宅
- ② 仕事：継続、結婚（28 歳ごろ、相手は今から探す）・出産後、在宅ワークか幼稚園のパートなどをして継続，総合職・広報担当（予定）。
- ③ 奨学金：有、日本学生支援機構、貸与型、月 5 万、4 年間で 240 万（返済、月 2 万、10 年くらい）
- ④ アルバイト：月 5 万、居酒屋（2019/4-2022/3）、塾（2022/4-）、居酒屋は立ち仕事で、変なお客がいた。塾は時給が高く、家から近い。
- ⑤ 自由になるおカネ：月 5 万（アルバイト代）、服、化粧品、ヘアサロン、食事、旅行（京都）、買い物；やりくりし苦勞、親に前借や我慢。定期代…奨学金

から。

⑥その他：

- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…家事全般できる、あたりまえにする、48歳、ある種の理想形、料理、弁当づくり、掃除、その他をする。／家事は父親、母親が半々ぐらい。／弟…受験生、家事の訓練をしている。
- ⑧母親・他の家族は、父親・祖父が家事をしやすいするために、ありがとうと言う。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：駅までの送り迎え、弟の送り迎え、遊びの時の送り迎え、なんでもしてくれる。／おばあちゃん…何でもする人。車で30分くらいのところに住んでいる。
- ⑩父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：小学校・中学校受験…まっとうに育った。荒れている学校を避けた。地元の子どものとの交流はあまりなく、難しかった。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：家賃の仕組み、携帯の支払いなど。
- ⑫ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：ある。父親のように家事を積極的にやる人がよい。
- ⑬おカネのことにすること・大学生になって）、おカネに関して困ったこと：脱毛の契約…親に相談せずに、勝手に契約して怒られた。40万くらい。勝手に契約してはいけないと思った。
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：特になし。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：家計簿、レシート…つけている。家計管理。外食が多い。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：車の購入…120万くらい。お金がかかった。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：「この給料では、この家賃ですよ」など。／収支、家計簿のつけ方、カードの使い方。
- ⑱その他：カード作っていない。就職するので作る予定。

(12) 自宅・女性・核家族 (事例 11)

- ① 4年、女性／高校まで（現在）の主な家族形態、核家族、4人、母親（仕事が好き。学童・総括支援員。正規職員）／現在の居住形態：自宅
- ② 仕事：結婚退職後、専業主婦希望、専門職、（朝早くが苦手、ゆっくり働きたい、相手にもよる）
- ③ 奨学金：あり、日本学生支援機構、月3万、貸与型、親に渡す
- ④ アルバイトの金額：月3万、長期休暇時に稼いでいた（月15万、短期、コール・センター）
- ⑤ 自由になるおカネの金額：月3万＋お年玉、アルバイト代の貯金／使途：服、美容院、脱毛（50万、月2万）、卒業旅行（ホテル代等、先払い、カードで）、卒業式代、携帯…親負担。
- ⑥ その他：特になし。
- ⑦ 父親・祖父の家事参加：父親…料理以外、やっている。／共働き…休みが異なるので、両親で家事をする。
- ⑧ 母親・他の家族は、母親…洗濯物のしわに苦情。しかし、ありがとうと言っている。母親は料理上手である。
- ⑨ （全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：ずっと、送り迎えしてくれる。優しい。家族のために頼まれたことをやってくれる。
- ⑩ 父親・祖父との関わりを通して、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：仕事のことば遣いから、社会人としてのマナーを知ることができた。
- ⑪ 父親・祖父から教えてほしかったこと：父親…車に関する知識。母親が車を買替える。自分はそれをお下がりです使う予定。母親…料理。
- ⑫ ボイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：父親のような優しい人がいい。
- ⑬ おカネのことに関すること・大学生になって、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと：50万のローン、返済月2万（1万にすればよかったか）、手数料が高い。／自動車学校（25万くらい）、高い、月1万、手数料が高い。

- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：リボ払い、するな。／クレジットカードに依存しないで、現金払いすること。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：生活費、大変そう。／積立型の貯金がある。／税金、年金保険料、介護保険
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：2022年、服（6万）の代金、ある友人が別の友人に借りた。友人との間でお金を貸し借りするのはどうかと思う。信頼関係が損なわれるのではないか。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：積立型の貯金、税金、年金保険料、介護保険、投資、株
- ⑱その他

(13) 自宅・女性・核家族（事例12）

- ①4年、女性／高校までの主な家族形態、核家族、4／現在の居住形態：自宅
- ②仕事：継続希望、専門職
- ③奨学金（給付型、貸与型）の有無：なし
- ④アルバイトの金額：月6万、学童を増やした、2カ所
- ⑤自由になるおカネの金額：月6万（バイト代、不定）
- ⑥その他：
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…結構する、料理、裁縫（得意）、洗濯、基本は母親／母親…幼稚園勤務、パート。
- ⑧母親・他の家族による、父親・祖父が家事をしやすくする工夫：特になし。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：特になし。
- ⑩父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：父親…高校教員、こういうふうになりたいと思った。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：特になし
- ⑫ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：積極的に何かする人がい

い、自分でも考えて。

- ⑬おカネのことに関すること・大学生になって)、おカネに関して困ったこと、びっくりしたこと、トラブルになったこと(なりそうになったこと):特になし。
- ⑭親世代(父親、母親、祖父母など)からおカネに関して直接、教えられたこと:無駄遣いをしない。
- ⑮親世代(父親、母親、祖父母など)を見ていて、おカネに関して気付いたこと、学んだこと:新札を取っておく。役に立てる。/投資信託。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと:2023年正月、車を買った(お正月バック)、軽色々合わせて200万くらい。おカネがかかると思った。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと:投資信託、税金、保険、年金。
- ⑱その他:特になし

(14) 自宅・女性・核家族(事例13)

- ①4年、女性/高校までの主な家族形態、核家族、4人/現在の居住形態、自宅。
- ②仕事:継続希望、総合職
- ③奨学金:なし
- ④アルバイト:月8万くらい、扶養内(103万以下)、ここから授業料をねん出(月3万程度)。
- ⑤自由になるおカネ:月5万くらい、携帯代(3千円程度、今後は自分負担)、美容費(月1万以上、美容院7000円、トリートメント、まつげパーマ)、飲み代、外食費、交通費(1万)、服、旅行(年1回)。
- ⑦その他:
- ⑧父親・祖父の家事参加:父親…金銭管理。たまに、アイロンかけをしたり、お好み焼きを焼いたりする。フットワークがよい。バーベキュー、公園で遊ぶ、自然の中で遊ぶ、キャンプなども好き。/単身赴任時(自分が中学3年から大学2年まで、6年間)は家事をしていた。同居し始めてからはしていない。単身赴任中は毎日電話。

- ⑨母親・他の家族による、父親・祖父が家事をしやすい工夫：おいしいね、上手だね、と言う。
- ⑩（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：14才のとき、転勤の際のセレモニー。自分の家族全員が出席。周りを囲まれて写真を撮ってもらった。父親が立派であることを知ることができた。
- ⑪父親・祖父との関わりを通じた、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：父親が転勤族で、転校があった。そのため、ハートが強くなった。初めての人にも、ありのままの自分で接することができる。友だちがすぐにできる。
- ⑫父親・祖父から教えてほしかったこと：おカネのこと。
- ⑬ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：父親のような人は嫌いではない。アウトドア系の遊びをしてきた。フットワークがいい人がいい。
- ⑭おカネのことに関すること・大学生になって、おカネに関して：びっくりしたこと…給与明細の内容がわからなかった（住民税、還付金など）。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：特になし。貯金するのが好き。
- ⑯親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：おカネを何に使うか、それぞれで異なる…母親、食べもの、家族と楽しむ／父親、趣味（ソロ・キャンプ）、車。
- ⑰おカネのことで記憶が鮮明なできごと：最近、私が一人暮らしを始めるので、父親が現金50万をくれたので、驚いた。
- ⑱親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：おカネの使い方、貯金の仕方、保険、年金のしくみ。おカネの増やし方。
- ⑲その他：卒業後、一人暮らし…昼食は外食になる、夜・自炊の予定、食費がかかるようだ。

(15) 自宅・女性・核家族（事例14）

- ①3年、女性／高校までの主な家族形態、核家族、5人／現在の居住形態：自宅。
- ②仕事：継続希望、専門職・小学校教諭

- ③奨学金：なし
- ④アルバイト：月6万、塾、飲食（最近）、長期休暇の時はもう少し金額多い
- ⑤自由になるおカネ：月6万（アルバイト代）／使途、携帯代、自動車学校費用30万（運転していないが）。
- ⑥その他：
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…料理、洗濯、掃除（時間のあるとき、いつもしないところを）、最近するようになった。／母親…転職。新しく始めた。子どもたちがある程度大きくなってから再び働き始めた。約10年。栄養士。／祖父（母方、近くに住んでいる）…年をとってから、料理を始めた。料理上手、たくさん、おいしい、魚・煮つけ、刺身。鹿児島の人。孫、多い。
- ⑧母親・他の家族による、父親・祖父が家事をしやすくする工夫：ありがとうと言う。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：祖父、自治会長をしていた。トイレットペーパーの切り方、きちんと切る、後の人のことを考える。鉛筆の持ち方。マナー。習字（自分の生徒会・文化委員長の選挙のとき、タスキに文字を書いてもらった）。絵も上手。オセロを一緒にやっていた。勝てなかった。／曾祖父…レストラン、大阪、多くの家族が携わっている。
- ⑩父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：父親…ご飯の時のマナー、厳しい。今は、ありがたい。おにぎり。お菓子はあまり食べない。時々父親が買ってくるのはok。駄菓子…遠足の時だけ選び、食べる。／祖父…後の人のことを考える。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：曾祖父の話…一度、聞いたが。生涯、ルーツ。／父親…店を手伝った。早く家を出て、自力で大学を卒業。「見て学ぶ」。一緒に作ることはしない。一緒に作ると、効率が悪いかもしれない。／母親…自力で大学を卒業。
- ⑫ボーイフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：特にない、と思う。
- ⑬おカネのことに関すること・困ったり驚いたりしたこと：大学1年生の時、何もしていなかった。アルバイト、今の半分以下だった。2年生以降、収入

があるのに、お金が貯まらない。

- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）から、おカネに関して直接、教えられたこと：お小遣い帳…つけていた。収支があわないと、お小遣いがもらえない。／年齢に見合ったお小遣いだったことは、よかった。大きいお金は親に預け、自分では持たない。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：母親…家計簿、お金の管理、頑張っているなあとと思う。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：国民年金の支払い開始、将来、年金がもらえるのか。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：国民年金、年金の将来。／積立NISA、外貨建てなど。
- ⑱その他：祖父…株をやっている。

(16) 自宅・男性・核家族（事例15）

- ①3年、男性／高校までの主な家族形態、核家族、5人／現在の居住形態：自宅
- ②仕事：継続、教員・専門職
- ③奨学金：あり（貸与型）、父親の会社の奨学金、金額不明
- ④アルバイト：月5-6万、サッカー指導者、平日4時間（準備から片付けまで、時給最低賃金）、土日もあるときもある。
- ⑥自由になるおカネ：月5-6万（アルバイト代）、携帯機種代・分割、車の保険料（家族の一部）、外食、服、遊び、旅行（長期休暇のとき、九州内）
- ⑥その他：
 - ⑦父親・祖父の家事参加：父親…母親が忙しいときに代わりにする。ゴミ出し。／基本的には母親（パート、昼から）が家事をしている。
 - ⑧母親・他の家族による、父親・祖父が家事をしやすくする工夫：自分…食器洗い。／姉2人が家にいたときは、母親を手伝っていた（料理等）。
 - ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：小学校から

高校まで、親がサッカーの試合を見に来てくれた。父親が多かった、母親も。／父親…民間会社勤務、大雨時、ダムの安全を確保・確認のため、出勤することがある。責任感を持って仕事をしていると思う。／父親…学生時代、柔道。

- ⑩父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：仕事は職場で。家には持ち帰らない。／人のために仕事をする。自分や家族のためだけではない。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：特になし。
- ⑫ガールフレンドを選ぶときの、父親・祖父の影響：特になし。
- ⑬おカネのことに関すること・大学生になって、おカネに関してトラブルになったこと：バイト代（サッカーのクラブチーム）…拘束時間分、もらっていない。特殊で、ちょっと採めている。今、議論中。最低賃金。
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：保険金（国民年金）のしくみ。現在は延期中。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：家計簿をつける。／父親と母親がおカネについて話し合っている場面もある。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：2021, 2022年、姉たちの結婚、出産、お祝い、結婚式…お金が必要、親もたくさん出していた。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：車、家など、大きい買い物のお金の支払い方、ローンの組み立て。保険、年金
- ⑱その他：料理の作る練習をしている。

(17) 自宅・男性・核家族（事例 16）

- ① 4年、男性／高校までの主な家族形態、核家族、4人／現在の居住形態：自宅
- ② 仕事：継続希望、専門職
- ③ 奨学金：なし
- ④ アルバイト：月8万、時給900、飲食、一日の出勤時間が長い、扶養の範囲

内で働くようにしている。

- ⑤自由になるおカネ：月8万（アルバイト代）、交通費、食費、あまり使わない、貯まっている。
- ⑥その他：
- ⑦父親・祖父の家事参加：父親…なし。／母親、自分…炊事、洗濯など。
- ⑧母親・他の家族による父親・祖父が家事をしやすくする工夫：特になし。
- ⑨（全体として）父親・祖父の関わりで、記憶が鮮明なできごと：10年くらい前、父親が高卒だが、福岡支店長になった。非常に努力したのだと思う。
- ⑩父親・祖父との関わりを通した、あなたの生き方、仕事との向き合い方、キャリアの築き方などへの影響：父親…いろいろなことを教わっている。名刺入れをもらった。名刺の渡し方、マナー、車、保険、お金のことなど、いろいろな話をしてくれる。
- ⑪父親・祖父から教えてほしかったこと：家族の問題。
- ⑫ガールフレンドを選ぶとき、父親・祖父の影響：特になし。
- ⑬おカネのことに関すること・大学生になって困ったこと：自分には、特になし。／周囲で、モバイル・プランナー、マルチ商法の話聞く。
- ⑭親世代（父親、母親、祖父母など）からおカネに関して直接、教えられたこと：特になし。
- ⑮親世代（父親、母親、祖父母など）を見ていて、おカネに関してあなたが気付いたこと、学んだこと：お年玉…生まれてからのお金、ずっと貯めてある。通帳に入れてある。
- ⑯おカネのことで記憶が鮮明なできごと：特になし。
- ⑰親や学校で、おカネに関して教えて欲しかったこと：社会人になるとき、何ほどの程度かかるか。／モバイル・プランナー、マルチ商法／積立NISA、IDECO。
- ⑱その他

5. まとめと考察

本研究では、金融リテラシー・マップ等において、収入支出管理の重要性を

確認し、金融ケイパビリティ・モデルを援用して、学生の金融リテラシーと態度について検討した。

インタビュー調査の結果をまとめると以下のようになった。

「奨学金」を受給している学生は6人（38%）、そのうち日本学生支援機構の貸与型を受給しているのは4人（受給者の67%）であった。奨学金の金額は月額3万から5万であった。したがって、卒業後に返済しなければならない総額は144万から240万である。すべての学生がなんらかの「アルバイト」をしており、その収入は概ね月額3万から8万円であった。アルバイト先は飲食店、塾・学習支援、スポーツ指導、コール・センターなどである。ほとんどの学生が定期的にアルバイトをしている。しかしながら、コロナ禍でアルバイトができなくなったという学生もいる。仕送りを受けている学生は一人暮らし学生9名のうち、5人であった。これらの収入を合計し、自由になるおカネの額を聞いたところ、3万から12万の範囲であった。金額が多い場合には、その中に水光熱費を含んでいる。おカネの使い道は、多様である。上位にあげられたのは携帯電話代、食費であった。一人暮らしの学生の場合、適切な食費の支出をしなければ健康を維持できない。対象者の学生を見ると、自炊や、生協・ミールカードを利用するなどして、工夫している。全体的にみると、ある程度安定的に収入を確保する一方、支出は控えめで、堅実に生活しているといえる。

金融ケイパビリティにおいて収入と支出の把握は基本的で重要な行為である。それによって将来の計画をたてることが可能となり、現在の生活を見直す契機にもなる。金融広報委員会が金融教育の目的とする「より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養うこと」ためにも不可欠である。満足度の高い生活を送るためには価値ある支出を追及する必要がある。どのような生活をして、何にお金を使ったのか、常に把握していなければならない。今後は、支出の把握にも注意を促したい。

おカネに関して、困ったことや知らなかったことについて聞いたところ、生活、水光熱費にお金がかかることが分かった、食材の値段に敏感になった、脱毛の契約で高額な費用を支払った、給与明細の内容がわからなかったなどの事例があった。いずれも、学校教育の中で学んでおきたい事項である。

合わせて、おカネに関して教えてほしかったことについて聞いたところ、税金4人（25%）、年金・保険11人（69%）、おカネ全般5人（31%）、貯金・投資5人（31%）、クレジットカード4人（25%）で、高いニーズがある。本来なら、高校卒業までに学んでおきたい事項とはいえ、十分でない。適切に機会をとらえ、学ぶ必要がある。

また、父親や祖父の家事参加の状況を見ると、する、たまにする、を合わせると14人（87%）が何らかの家事をしている。この姿は家族の中での共同が進みつつあることをうかがわせる。家庭における生活行動にポジティブな効果を与えていると思われる。

以上のように、インタビューを通して、学生が比較的堅実な生活をしていること、家庭内での民主主義が進みつつあることが観察された。

学校段階における金融教育は、一般的に複数の科目にわたる。インタビューの結果を活かして、すべての児童・生徒・学生が体系的に学び、適切な金融行動へとつながる内容を検討していきたい。

なお、本研究は西南学院大学研究倫理審査委員会の承認を受けている。

謝 辞

本研究はJSPS 科研費JP18K02039の助成を受けている。また、研究にご協力いただいた学生、卒業生に深く感謝いたします。

引用文献

- 阿部信太郎, 山岡道男, 浅野忠克, 高橋桂子 (2013) 日本のパーソナル・ファイナンス・リテラシーの現状と課題—高校生と大学生及び2時点間の比較分析—, 経済教育, 32, 164-172.
- 阿部信太郎, 山岡道男, 浅野忠克 (2016) 高校生・大学生の経済リテラシーの分析と課題, 経済教育, 35, 90-94.
- 新井明 (2015) 経済教育と金融教育の間—センのケイパビリティ論を手がかりに—, 経済教育, 34, 157-162.
- FSA (Financial Service Authority) (2005) : Measuring financial capability: an exploratory study. <http://www.bristol.ac.uk/media-library/sites/geography/migrated/documents/pfrc0510.pdf> (2023年10月15日閲覧)

- 藤野次雄 (2016) 国際比較調査 5 か国大学生各国比較結果の概要と意義, 生活経済学研究, 44, 43-56.
- 林總 (2014) 正しい家計管理, WAVE 出版
- 飯嶋香織 (2014) 大学生の金融に関する知識についての調査研究—大学生を対象にした質問紙調査の分析から—, 経済教育, 33, 53-60.
- 伊藤宏一 (2012): 金融ケイパビリティの地平: 「金融知識」から「消費者市民としての金融行動」, ファイナンシャル・プランニング研究, 12, 39-48.
- 蟹江教子, 高橋桂子 (2021) 金融に関する知識と行動との関連についての検討: 収入・支出の把握から考える, 実践女子大学生活科学部紀要, 58, 17-24.
- 金融経済教育推進会議 (2023) 金融リテラシー・マップ「最低限身に付けるべき金融(お金のリテラシー・知識・判断力)」の項目別・年齢層別スタンダード(2023年6月改訂版). <https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/literacy/pdf/map202306.pdf> (2023年10月15日閲覧)
- 国民生活センター (2023年5月31日) 18歳・19歳の消費者トラブルの状況: 成年年齢引下げから1年. https://www.kokusen.go.jp/pdf/n-20230531_1.pdf (2023年11月20日閲覧)
- 野田博也 (2020) 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」と機会: 社会的不利を抱える人々の金融ケイパビリティに関する論点, 大原社会問題研究所雑誌, 738, 52-66.
- 小山内幸治, 西尾圭一郎, 北野友士 (2016): 大学生を対象とした金融リテラシー調査票の作成と調査結果について, 経済教育, 35, 136-148.
- 知るぼると金融広報中央委員会 (2019) 『金融リテラシー調査2019年調査結果』. https://www.shiruporuto.jp/public/data/survey/literacy_chosa/2019/ (2023年10月15日閲覧)
- 知るぼると金融広報中央委員会 (2021) 金融教育プログラム 学校における金融教育の年齢層別目標【改訂版】. <https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/program/mokuhyo/pdf/mokuhyo000.pdf> (2023年10月15日閲覧).
- 知るぼると金融広報中央委員会 (2022) 『金融リテラシー調査2022年調査結果』. https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/literacy_chosa/2022/ (2023年10月15日閲覧)
- 高橋桂子 (2020) 「家計知識」や「金融経済知識」を規定する行動特性は何か, 経済教育, 39, 149-152.
- 山口勝業 (2019) 日本人の金融リテラシーはそれほど低くない!?, 行動経済学, 12 (大会特別号), 1-4.
- 山岡道男, 稲葉敏夫, 浅野忠克, 阿部信太郎, 高橋桂子 (2013): 2回のパーソナル・ファイナンス・リテラシー調査に関するテスト結果の比較について, 早稲田教育評論, 27 (1), 49-66.
- ZEN 全国大学生生活協同組合連合会: 第54回 (2021年) 学生生活実態調査 (2022) <https://www.univcoop.or.jp/press/life/report54.html> (2023年10月15日閲覧)

(西南学院大学人間科学部児童教育学科)